

潤いの森7月

ヒゲジロハサミムシ



学名：Forficula mikado
分類：ハサミムシ目ハサミムシ科
体長：約1~2cm
分布：本州・四国・九州
南西諸島

ヒゲジロハサミムシは、おしりにあるハサミが特徴の昆虫です。細長い体をしており、触角（ヒゲ）の一部が白っぽく見えます。このハサミは敵から身を守るために使われます。夜に活動する虫で、昼間は落ち葉の下や石のすき間、朽ち木の中など、暗くて湿った場所にひそんでいます。小さな虫や落ちているものを食べ、自然の中ではお掃除屋さんの役割をしています。主に日本各地で見られる種類で、海外にはあまり分布していません。人を攻撃することはほとんどありませんが、さわると挟まれることがあります。

見つけたらやさしく観察しましょう。少し怖そうに見えますが、自然の中で大切な生きものです。



ハサミムシの子育て

卵を守る（生まれる前）

卵のそばを離れず、ずっと見守り続けます。

- ・卵をなめてカビや汚れを取る
- ・卵を動かして温度や湿度を調整する
- ・外敵が来るとハサミで追い払うなど

赤ちゃんの世話（ふ化後）

- ・外敵から子どもを守る
- ・エサを運んで与える



昆虫ではかなりめずらしい
「しっかり子育てタイプ」

カラスウリ、スズメウリ



学名：Trichosanthes cucumeroides
分類：ウリ科 カラスウリ属
分布：日本（本州・四国・九州）
朝鮮半島、中国など



学名：Melothria japonica
分類：ウリ科 スズメウリ属
分布：日本（関東以西）、中国など

カラスウリとスズメウリは、名前はよく似ていますが、花の姿は大きく異なります。カラスウリは夜に咲くレースのような花、スズメウリは小さく目立たない花です。

カラスウリは、カラスが食べるという説から名づけられたといわれますが、実際にはあまり食べられていません。一方、スズメウリは小さくてかわいらしい実の様子から、この名前がつけられました。



種は縁起物



カラスウリの種は、打ち出の小槌のような独特な形をしています。この形から、昔から「財布に入れると金運が上がる」といった言い伝えが広まり、縁起物として親しまれてきました。